

授 業 名	介護概論			開 講 学 年	2回生	単 位 数	2単位	
英 文 名	Introduction to Nursing Care			開 講 時 期	春学期	必 修 ・ 選 択	必 修	
担 当 者	高岡 理恵			対 象 学 生	介護2回生			
授業の概要	用語の整理を行い、その後、介護福祉士養成における本講の位置づけを確認し、介護の意義やその役割ならびに専門性について学ぶ。次いで、介護サービスの利用者を生活者の視点から総合的に捉え、その尊厳の保持と自立支援に対する介護の専門性を学生個々が考え、理解できるよう演習を交えながら進める。							
学 習 成 果 達 成 目 標	1) 介護福祉に関わる事柄に関心をもち、基本的知識を習得する。 2) 介護福祉士法誕生の背景及び改正ポイントを理解し、介護福祉士の定義と義務を理解する。 3) 支援者としての自己の専門性を育てることができる。							
評 価 方 法	定期試験 (50 %)	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技	平常試験 (50 %)	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技
評 価 基 準	主たる評価の 観点	知識・理解 (コミュニケーション能力	プレゼンテーション能力) (課題発見・解決能力)		
テ キ ス ト	川井太加子、野中ますみ「介護の基本・介護過程」、日本介護福祉士養成施設協会編							
参 考 書	随時紹介するが、「社会福祉小六法」「介護福祉用語辞典」は必携。							
留 意 事 項	講義を中心に授業を行います。演習での発表や課題レポートの作成を指示します。テキスト以外に資料配布や視聴覚教材を使用します。介護福祉士を目指すみなさんにとって大切な科目のひとつです。 欠席や遅刻のないように積極的な授業参加を期待します。							
オ フ ィ ス ア ワ ー	研究室に掲示します							

授 業 名		学 習 内 容 ・ 課 題
授 業 計 画	学 習 項 目	学 習 内 容 ・ 課 題
第1回	介護概論を学ぶ意義について	(内 容) 講義内容や成績評価の方法、受講上の留意点等について説明 介護に関わる用語について整理する (必要な準備) テキスト・ノート・参考書等の準備
第2回	介護と介護福祉士の歴史	(内 容) 介護及び介護福祉士の歴史を知る (必要な準備) 介護の歴史について年表をもとに調べてくること テキスト9～10
第3回	介護福祉士の法的根拠	(内 容) 介護福祉士の定義と義務、業務独占について理解する 介護福祉士養成制度と登録状況を知る (必要な準備) 社会福祉士及び介護福祉士法を調べてくること テキスト51～53を読んでくること
第4回	介護の理念	(内 容) 尊厳を支える介護の意味を「自立」「QOL」の意味とともに理解する (必要な準備) テキスト29～47まで読んでくること
第5回	介護サービス提供の場の特性 1 居宅	(内 容) 居宅介護サービスの特性を理解する (三本柱) (必要な準備) テキスト55～56を読んでくること
第6回	介護サービス提供の場の特性 2 地域	(内 容) 地域や社会の役割やあり方について理解する 社会における介護の課題を明確にする (必要な準備) テキスト54～55を読んでくること
第7回	介護サービス提供の場の特性 3 福祉施設	(内 容) 介護老人福祉施設の目的を理解し、それにおける利用者の住まい方について理解する (必要な準備) 介護老人福祉施設のパフレットを何部か用意しておくこと
第8回	介護サービス提供の場の特性 4 保健施設	(内 容) 介護老人保健施設の目的を理解し、それにおける利用者の住まい方について理解する (必要な準備) 介護老人保健施設のパフレットを何部か用意しておくこと
第9回	介護サービス提供の場の特性 5 医療施設	(内 容) 医療型障害児入所施設の目的を理解し、それにおける利用者の住まい方や特性について理解する (必要な準備) 配布した資料を予習しておくこと
第10回	介護サービス提供の場の特性 6 生活保護施設	(内 容) 救護施設の存在意義を理解し、利用者の住まい方や特性を理解する (必要な準備) 配布した資料を予習しておくこと
第11回	介護問題の背景	(内 容) 居宅、施設、社会における介護問題を把握する (必要な準備) 新聞記事やメディアの資料から介護問題の背景について書かれている箇所を抜き出してくること
第12回	介護問題の理解	(内 容) 居宅、施設、社会における介護問題について発表する (必要な準備) 課題レポートの作成と提出
第13回	専門職能団体の活動	(内 容) 専門職集団としての役割、機能を理解する 倫理要領を理解する (必要な準備) テキスト18～28を読んでくること
第14回	多職種における連携	(内 容) 介護職と関係深い多職種の理解を行う 連携場面を考え、介護福祉士の専門性を理解する (必要な準備) テキスト60～67を読んでくること
第15回	まとめ	(内 容) 介護における社会的な課題を1つとりあげまとめる (必要な準備) 課題発表した内容をまとめてくること

授業名	介護概論			開講学年	2回生	単位数	2単位	
英文名	Introduction to Nursing Care			開講時期	春学期	必修・選択	必修	
担当者	高岡 理恵			対象学生	介護2回生			
授業の概要	<p>介護概論は、介護の基盤となる教科である。 利用者を「生活する人」として受け止め、介護の思考過程を用い、その人の意向や生き方、生活習慣などを鑑み、その人らしさを大切にすることを学ぶ。さらに、介護従事者の侵しやすいリスクを知り、利用者及び自分自身のリスク管理を学ぶ。</p>							
学習成果到達目標	<p>1) 介護の思考過程が展開できる 2) ライフスタイルから要介護者の生きてきた時代背景が理解できる 3) 介護事故につながる要因が理解できる 4) リスクマネジメントを理解できる</p>							
評価方法	定期試験 (30 %)	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技	平常試験 (70 %)	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技
評価基準	主たる評価の 観点	知識・理解 (態度)	コミュニケーション能力	プレゼンテーション能力 (態度)	課題発見・解決能力			
テキスト	川井太加子・野中ますみ、「介護の基本・介護過程」、日本介護福祉士養成施設協会							
参考書	随時 指示する。							
留意事項	介護の思考過程を学ぶためにも、テキストを読み予習をしておいてください。授業で配布した資料は毎回持参してください。							
オフィス アワー	研究室に掲示します							

授 業 名		介護概論	
授 業 計 画	学習項目	学習内容・課題	
第1回	科目ガイダンス 生活への視点	(内 容)	介護概論 の進めかた 生活とくらしの違いについて学ぶ (必要な準備) シラバスを読んでおく
第2回	人間の多様性・複雑性の理解 生活史や価値観	(内 容)	介護の思考過程を理解する 利用者主体の考え方をイメージする (必要な準備) テキスト p125～138を読んでおく
第3回	利用者理解 情報収集とアセスメント	(内 容)	情報収集の方法を身に着ける アセスメントの意味を理解する (必要な準備) 前回出した宿題をしておくこと
第4回	利用者理解 分析	(内 容)	人間科学及び自然科学の意味を理解する その方法を用い、分析する (必要な準備) テキスト p140～154を読んでおく
第5回	利用者理解 ニーズと目標	(内 容)	ニーズの意味を理解する マズローの欲求段階を理解する (必要な準備) テキスト p155～154160を読んでおく
第6回	利用者理解 計画	(内 容)	個別ケアの考え方、個別ケアの具体的展開方法を考える (必要な準備) 前回出した宿題をしておくこと
第7回	利用者理解 評価の方法	(内 容)	評価基準と規準を理解する (必要な準備) 配布した資料を読み予習しておく
第8回	利用者理解 事例研究 1 分析 ニーズ設定	(内 容)	事例を通して科学的根拠をもとに課題を探す 事例を人間科学で読み解きながらその人理解を行う (必要な準備) 配布した事例に目をとめておく
第9回	利用者理解 事例研究 2 計画	(内 容)	課題から目標設定を行い計画を策定する その人に一番必要とされるニーズに対し計画を策定する (必要な準備)
第10回	利用者理解 事例研究 2 発表	(内 容)	科学的根拠からニーズ、目標設定、計画という一連の過程に対して発表する (必要な準備) 発表できるよう資料を作成しておく 発表原稿を整えておく
第11回	リスクマネジメントと介護従事者の安全 リスクとリスクマネジメント	(内 容)	リスクとリスクマネジメントの意味を理解する 介護事故について調べる (必要な準備) テキスト p114～p116
第12回	リスクマネジメントと介護従事者の安全 介護施設でおきやすい事故事例	(内 容)	介護事故が起きる原因と予防・対策について理解する (必要な準備) テキスト p117～p120を読んでおく 配布した資料に目を通しておく
第13回	リスクマネジメントと介護従事者の安全 高齢者虐待の現状と課題	(内 容)	高齢者虐待の類型と現状を理解する 高齢者虐待の現状を新聞記事を使って知る (必要な準備) 高齢者虐待について新聞やメディアで取り扱われているものを収集しておく
第14回	リスクマネジメントと介護従事者の安全 感情労働と適応機制	(内 容)	感情労働である介護と起こりやすいリスクとの関連について学ぶ ストレスの意味について学ぶ ストレスをコントロールする方法の一つである適応機制について学ぶ (必要な準備) 配布した資料を読み予習しておく
第15回	リスクマネジメントと介護従事者の安全 記録の必要性	(内 容)	記録の意義と必要性について学ぶ 記録の書き方の留意について学ぶ (必要な準備) 配布した資料を読み予習しておく 総合基礎演習でまとめた記録をもってくる

授 業 名	高齢者福祉			開 講 学 年	2回生	単 位 数	2単位	
英 文 名	Welfare for Elderly People			開 講 時 期	春学期	必修・選択	選択	
担 当 者	野田 隆生			対 象 学 生	介護2回生			
授業の概要	現代社会において高齢者のおかれている立場や、高齢期に特有のさまざまな障害や疾病について諸資料を参考に理解を深める。次いで、高齢者に関する法律や制度について歴史的な変遷過程を整理し、社会福祉問題となっている認知症や老老介護などの諸問題を取り上げながら、どのような対策がとられているのか、今後必要とされる多職種・機関との連携について学ぶ。							
学 習 成 果 達 成 目 標	1) 高齢期特有の心身の変化について基礎的な知識を習得できる。 2) 高齢者福祉に関する制度の歴史的な展開過程を理解できる。 3) 高齢社会の現状と課題について理解し、説明できる。							
評 価 方 法	定期試験 (70 %)	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技	平常試験 (30 %)	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技
評 価 基 準	主たる評価の 観点	知識・理解 (コミュニケーション能力	プレゼンテーション能力) (課題発見・解決能力) (
テ キ ス ト	適宜紹介する。							
参 考 書	適宜紹介する。							
留 意 事 項	時事問題（新聞、福祉系機関誌ならびに雑誌等）に目を向けること。							
オ フ ィ ス ア ワ ー	授業初回時に連絡をします。 基本的に研究室に在室していれば対応をします。また、急な質問等については学内E-mailを利用して下さい。							

授 業 名	高齢者福祉	
授 業 計 画	学習項目	学習内容・課題
第1回	はじめに ～「老い」への理解に向けて～	(内 容) 講義の進め方や評価方法の説明ならびに参考文献の紹介を行い、「老い」ということについて意見を出し合う。 (必要な準備) 「老い」への理解について考えておく。(30分)
第2回	老人をめぐる語義について	(内 容) 高齢者の呼称から考える人権について学ぶ。 (必要な準備) 紹介した書籍を読む。(60分)
第3回	少子高齢社会の現状と課題について	(内 容) 人口高齢化の問題と少子化の問題がもたらす社会への影響について考える。 (必要な準備) 『国民の福祉と介護の動向』を読む。(45分)
第4回	高齢者の社会的理解について	(内 容) 高齢期の生活について事例に基づき考える。 (必要な準備) 紹介した資料を読む。(45分)
第5回	社会的弱者としての高齢者について	(内 容) 高齢者の安全と差別について考える。 (必要な準備) 「災害弱者」について調べる。(45分)
第6回	高齢者の身体的・精神的理解について	(内 容) 高齢期の心身機能の低下とその特徴について理解を深めていく。 (必要な準備) 紹介したメディアを閲覧する。(45分)
第7回	特定疾病と難病について	(内 容) 高齢期特有の疾病の呼称ならびに病状について理解を深めていく。 (必要な準備) 紹介したメディアを閲覧する。(45分)
第8回	高齢者の社会生活における諸問題について	(内 容) 高齢期における社会生活上の諸問題について考える。 (必要な準備) 紹介したメディアを閲覧する。(45分)
第9回	高齢者保健福祉制度の発展過程 ～高度経済成長期に至るまで～	(内 容) 戦後より老人福祉法制定までの高齢者福祉制度について考える。 (必要な準備) 紹介した資料を読む。(60分)
第10回	高齢者保健福祉制度の発展過程 ～老人福祉 法制定からゴールドプランまで～	(内 容) 老人福祉法の成立からゴールドプランまでを考える。 (必要な準備) 紹介した資料を読む。(60分)
第11回	高齢者保健福祉制度の発展過程 ～1990年代の制度再編と介護保険法制定まで～	(内 容) 介護保険法の制定とその背景について考える。 (必要な準備) 紹介した資料を読む。(60分)
第12回	介護保険制度の基本的枠組みについて	(内 容) 制度の目的・理念や最近の動向について学ぶ。 (必要な準備) 紹介した資料を読む。(60分)
第13回	介護保険制度の仕組みとサービスの質について	(内 容) 要介護認定の仕組みと地域支援事業の意義について学ぶ。 (必要な準備) 紹介した資料を読む。(60分)
第14回	介護保険サービスの体系について	(内 容) 居宅サービスと施設サービスの種類と諸課題について考える。 (必要な準備) 紹介した資料を読む。(60分)
第15回	まとめにかえて ～「老い」と「楽」は一体なのか?～	(内 容) 高齢期を最期まで生ききることを実現できる社会とはどんな社会なのかを考える。 (必要な準備) すでに配布している資料や書籍に目を通し、ディスカッションができるよう準備しておく。(60分)

授 業 名	社会の理解			開 講 学 年	2回生	単 位 数	2単位	
英 文 名	Understanding of Handicaps			開 講 時 期	春学期	必修・選択	選択	
担 当 者	野田 隆生			対 象 学 生	介護2回生			
授業の概要	わたしたちの日々の生活を支えている社会構造を知ること、家族や地域を単位とする社会において、一人ひとりがそれぞれの役割を果たすことで社会が支えられ、かつ一人ひとりの生活がその社会に支えられているという仕組みを、人間の暮らしと社会との関わりについて多角的な視点で学ぶことにより、援助者としての価値観を養っていく。							
学 習 成 果 達 成 目 標	1) 現代社会における「ゆりかご」から「はかば」までの法制度を理解できる。 2) 社会、地域、家庭を理解することができる。 3) 現代社会におけるさまざまな生活の現状を把握し、人々の相互の関係を多角的に理解することができる。							
評 価 方 法	定期試験 (70 %)	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技	平常試験 (30 %)	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技
評 価 基 準	主たる評価の 観点	知識・理解 (コミュニケーション能力	プレゼンテーション能力	課題発見・解決能力)		
テ キ ス ト	適宜紹介する。							
参 考 書	適宜紹介する。							
留 意 事 項	時事問題（新聞、福祉系機関誌ならびに雑誌等）に目を向けること。							
オ フ ィ ス ア ウ ー	授業初回時に連絡をします。 基本的に研究室に在室していれば対応をします。また、急な質問等については学内E-mailを利用して下さい。							

授 業 名		社会の理解
授 業 計 画	学習項目	学習内容・課題
第1回	はじめに ～日々の生活について～	(内 容) 評価の方法、講義の進め方について説明し、その後演習形式で「生活」について考える。 (必要な準備) 自分自身の「生活」をふりかえる。(20分) 次回の課題を発表する。
第2回	現代社会における家族・家庭について	(内 容) ライフサイクル、「ゆりかごからはかばまで」について (必要な準備) 課題をノートにまとめる。(60分) 次回の課題を発表する。
第3回	地域社会と家族・家庭について ～地域を支える機関とその役割～	(内 容) 地域社会とは何かを定義し、それを取りまとめる機関の役割等について学ぶ。 (必要な準備) 課題をノートにまとめる。(60分) 次回の課題を発表する。
第4回	地域社会と家族・家庭について ～家族・家庭が抱える諸問題～	(内 容) 家族や家庭が抱える諸問題を取り上げ、何が問題となっているのかを考える。 (必要な準備) 課題をノートにまとめる。(60分) 次回の課題を発表する。
第5回	人間理解とその尊厳 ～「生きる権利」とその保障～	(内 容) 生存権や基本的人権について学び、生きることへの障害となる事象について学ぶ。 (必要な準備) 課題をノートにまとめる。(60分) 次回の課題を発表する。
第6回	人間理解とその尊厳 ～「自立」と「自律」～	(内 容) 人間の多面的理解に向けて「自立」と「自律」について学ぶ。 (必要な準備) 課題をノートにまとめる。(60分) 次回の課題を発表する。
第7回	人間理解とその尊厳 ～人間の尊厳について～	(内 容) 人間の尊厳について障害や難病を事例として挙げながら考える。 (必要な準備) 課題をノートにまとめる。(60分) 次回の課題を発表する。
第8回	介護における自立と尊厳の保持 ～介護における自立支援と尊厳の保持～	(内 容) 介護における自立支援と尊厳の保持について考える。 (必要な準備) 課題をノートにまとめる。(60分) 次回の課題を発表する。
第9回	介護における自立と尊厳の保持 ～盲・ろう・聾者へのかかわり～	(内 容) 盲・ろう・聾者への支援を通じて考える自立支援と尊厳の保持について (必要な準備) 課題をノートにまとめる。(60分) 次回の課題を発表する。
第10回	介護における自立と尊厳の保持 ～要介護高齢者へのかかわり～	(内 容) 要介護高齢者への支援を通じて考える自立支援と尊厳の保持について (必要な準備) 課題をノートにまとめる。(60分) 次回の課題を発表する。
第11回	人間関係とコミュニケーション ～関係づくりのための人間理解～	(内 容) 日常生活での人間関係と職場での人間関係をそれぞれ事例として取り上げ、コミュニケーションについて考える。 (必要な準備) 課題をノートにまとめる。(60分) 次回の課題を発表する。
第12回	人間関係とコミュニケーション ～介護職支援と対人関係～	(内 容) 「自分を知る」ことからわかる対人援助の基礎について学ぶ。 演習形式を取り入れる。 (必要な準備) 課題をノートにまとめる。(60分) 次回の課題を発表する。
第13回	人間関係とコミュニケーション ～コミュニケーションの基礎～	(内 容) コミュニケーションとは何かを考え、そこから基礎となる技法を学ぶ。 (必要な準備) 課題をノートにまとめる。(60分) 次回の課題を発表する。
第14回	介護実践にかかわる諸制度について	(内 容) 個人の権利を守る制度についてふりかえり、介護実践においてなぜ必要となるのかを考える。 (必要な準備) 課題をノートにまとめる。(60分) 次回の課題を発表する。
第15回	まとめにかえて ～これからの「介護」について～	(内 容) どのような社会がこれから必要とされてくるのだろうか。社会を構成する一人ひとりの人間が、何を目的に、どう生きることが求められていくのかを考える。 (必要な準備) 今までに取り組んできた課題を読んでおく。(90分) ディスカッションができる準備をしておく。

授 業 名	障害の理解		開 講 学 年	2回生	単 位 数	2単位		
英 文 名	Understanding of Handicaps		開 講 時 期	春学期	必修・選択	選択		
担 当 者	高岡 理恵		対 象 学 生	介護2回生				
授業の概要	障害の基礎的知識を習得すると共に、生活支援技術と関連付けた介護の視点を学び、心理状態や家族への支援や配慮、地域における連携や協働の在り方を学習する。 フィールドワークを実施し、地域の障がい施策を理解する。							
学 習 成 果 達 成 目 標	1) 障害のメカニズムを理解する。 2) 障害が日常生活に及ぼす様々な影響を理解できる。 3) 家族を含めた障害者の生活支援を行うための根拠となる知識を習得する。							
評 価 方 法	定期試験 (50 %)	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技	平常試験 (50 %)	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技
評 価 基 準	主たる評価の 観点	知識・理解 ()	コミュニケーション能力	プレゼンテーション能力 ()	課題発見・解決能力 ()			
テ キ ス ト	新・介護福祉士養成講座「障害の理解」、介護福祉士養成講座編集委員会、中央法規							
参 考 書	随時紹介							
留 意 事 項	障害のある人の心身機能に関する基礎的知識を習得するため学習内容が多いので、テキストをまとめる、ノートをとる、生活支援を考える等が必要となる。							
オ フ ィ ス ア ワ ー	研究室に掲示する							

授 業 名		障 害 の 理 解
授 業 計 画	学 習 項 目	学 習 内 容 ・ 課 題
第1回	科目ガイダンス	(内 容) 授業の目的・進行の仕方・授業内容について (必要な準備) ノートの用意
第2回	障がい者福祉の基本理念	(内 容) ノーマライゼーションの意味を理解する インクルージョンの意味を理解する (必要な準備) 社会福祉基礎構造改革と障がい者施策をまとめてきてください
第3回	障がいに関する考え方	(内 容) 障がいの概念(I C F)の理解と、 I C I D H から I C F への変遷について学ぶ (必要な準備) テキストを読んでおくこと
第4回	認知機能の低下による障がいの理解 1 総論	(内 容) 認知機能の低下による障がいによって出現する症状を学ぶ (必要な準備) 前回授業内容の復習
第5回	認知機能の低下による障がいの理解 2 高次脳機能障害のある人の理解	(内 容) 認知機能の低下による特徴的な心理行動を学ぶ 高次脳機能障害の医学的理解を行う (必要な準備) 配布したプリントを読んでおく
第6回	視覚障がいのある人の理解	(内 容) 視覚障がいの身体的心理的状況を理解する (必要な準備) テキスト42～50までを読んでおく
第7回	聴覚障がいのある人の理解	(内 容) 聴覚障がいの身体的心理的状況を理解する (必要な準備) テキスト51～60を読んでおく
第8回	言語障害のある人の理解	(内 容) 言語障がいの身体的心理的状況を理解する (必要な準備) テキストを読んでおくこと
第9回	重複障害のある人の理解	(内 容) 重複障がいの身体的心理的状況を理解する 家族支援と家族の思いについて考える (必要な準備) 配布プリントを予習する
第10回	内部障害のある人の理解	(内 容) 内部障害のある人の身体的心理的状況を理解する パウチを体験する (必要な準備) テキスト68～83まで読んでおく
第11回	知的障害のある人の理解	(内 容) 知的障害ある人の身体的心理的状況を理解する (必要な準備) テキスト124～132まで読んでおく
第12回	精神障害のある人の理解	(内 容) 精神障害ある人の身体的心理的状況を理解する (必要な準備)
第13回	難病のある人理解	(内 容) 難病の身体的心理的状況を理解する (必要な準備) テキスト167～177を読んでおく
第14回	フィールドワーク体験	(内 容) 自分の考えたテーマをもって地域にでかけ、地域の障がい施策を確認するとともに体験する (必要な準備) テーマの選定と、何をみたいのか具体的にポイントをあげてくる
第15回	地域の障がい施策と連携 フィールドワークまとめ	(内 容) 前回の体験をもとにフィールドワークのまとめを行う (必要な準備) 前回のテーマ設定をポイントをまとめる

授 業 名	介護技術		開 講 学 年	2回生	単 位 数	2単位		
英 文 名	Nursing Care Work Skills		開 講 時 期	春学期	必修・選択	選択		
担 当 者	高岡 理恵		対 象 学 生	介護2回生				
授業の概要	<p>日常生活の基本的行為である「移動」という行為は何かしらの目的をもって行われる。その目的達成のために安全に自立にむけた支援をどのように行うのか基本的な体の動きについて学びます。 技術を行う前には、それに必要な環境整備(備品・姿勢等)を行うことにより、介護者自身の身体の安全を確保するとともに、ひいては利用者の安全を損なわないようにすることを学びます。</p>							
学 習 成 果 達 成 目 標	<p>1) 身体の動きを理解し、身体に負担のない介護ができる 2) 介護を行うときに、必要な環境を整備することができる 3) 移動介助を必要とする人に適切は介護技術の根拠を自分の言葉で説明できる 4) 必要な福祉用具の機能を理解し、適切な用具を自分で考え選択できる</p>							
評 価 方 法	定期試験 (50 %)	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技	平常試験 (50 %)	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技
評 価 基 準	主たる評価の 観点	知識・理解 (コミュニケーション能力	プレゼンテーション能力) (課題発見・解決能力)			
テ キ ス ト	新・介護福祉士養成講座「生活支援技術」、中央法規							
参 考 書	適宜、紹介します							
留 意 事 項	理論を踏まえて技術を行いますので、しっかり予習してくること。 介護実技室に入室するときには、服を着替え、髪をまとめてください。							
オ フ ィ ス ア ワ ー	研究室に掲示します							

授 業 名		介 護 技 術
授 業 計 画	学 習 項 目	学 習 内 容 ・ 課 題
第1回	オリエンテーション 居住環境整備の意義と目的	(内 容) 物品の整理や快適な居住空間づくりを学ぶ (必要な準備) 自身の居住環境を意識して観察し発表できるようにしておくこと
第2回	安全で心地よい生活の場作り	(内 容) シーツの扱い方、シーツ交換の方法を身につける 安全で、快適な環境へのイメージが描けるよう学ぶ (必要な準備) 自身の居住空間での物品の取扱い方について発表できるようにしておくこと
第3回	身支度の意義と目的	(内 容) 衣服を着る意味を理解する 運動機能に障害のある人への身支度の介護方法を身につける (必要な準備) テキスト第2章「身支度の介護」p22～44までを読んでおく
第4回	生活習慣と装いの楽しみを支える介護	(内 容) 寝巻(着物)の着脱介護方法を身につける (必要な準備) テキストp45～64を読んでおく
第5回	整容行動、衣生活を調整する能力のアセスメント と介助の技法	(内 容) 整容(ひげそり、爪切り、化粧等の人へ与える影響を学ぶ 上記の介護技術を身につける (必要な準備) テキストp65～82を読んでおく
第6回	安全で的確な移動・移乗の介護	(内 容) ボディメカクニスを理解する その機能を用いてベッド上での移乗を身につける (必要な準備) テキスト第3章「移動の介護」p98～115を読んでおく
第7回	安全で的確な移動・移乗の介護	(内 容) スライディングシートを用いた移乗を身につける (必要な準備) テキストp116～139を読んでおく
第8回	安全で的確な移動・移乗の介護	(内 容) 座位保持の姿勢、座位から車いす及びトイレへの移乗方法 スライディングボードを用いた移乗介助を身につける (必要な準備) テキストp140～163を読んでおく
第9回	利用者の状態・状況に応じた移動介護	(内 容) 運動機能が低下している人の介助 車いすの機能について理解する 様々な車いすの違いを知る 車いすの介護方法を身につける (必要な準備) テキストp164～175を読んでおく
第10回	利用者の状態・状況に応じた移動介護	(内 容) 運動機能が低下している人の介助 様々な杖の違いを知る 杖歩行人への介護方法を身につける (必要な準備) 配布した資料を予しておくこと
第11回	利用者の状態・状況に応じた移動介護	(内 容) リフトやストレッチャーを利用した介護方法を身につける (必要な準備) 配布した資料を予しておくこと
第12回	感覚機能が低下している人の介助	(内 容) 視覚に障害のある人への移動介護方法を身につける (必要な準備) 配布した資料を予しておくこと
第13回	安楽な体位保持の介護	(内 容) 安楽な姿勢の意味を知る クッション等を用いて安楽な体位をつくる (必要な準備) 配布した資料を予しておくこと
第14回	実技テスト	(内 容) 介護技術 で学んだ内容の実技テストを行う (必要な準備) 介護技術を復習しておくこと
第15回	まとめ 復習	(内 容) 介護技術 で学んだ介護の復習 (必要な準備) わからないところをまとめておくこと